

千葉国体を小中学生が応援



写真は7/26のラジオ体操のとき、声をかけて集まってもらった3小学校の4年生たち。

先日、マリスタジアムに千葉ロッテの応援に行きました。グラウンドにはマー君・リーちゃんたちと一緒にあの千葉県の形をした真っ赤なキャラクター「チーバくん」が登場。すると子どもたちからは「チーバくん！チーバくん！」の大歓声。チーバくんの人気はたいへんなものですが、チーバくんがマスコットキャラクターになっているこの秋の「ゆめ半島千葉国体」というと、どうも盛り上がり欠けているようです。

ここで耳にしたのが、打瀬の3つの小学校4年生全員(472人)と打瀬中の希望者91人が9月25日にマリスタジアムで行われ

る千葉国体開会式の式典前演技の第3ステージで集団パフォーマンスを実施するというニュースでした。

7月の猛暑の中、子ども達が懸命に応援練習をしていると聞き、さっそく練習を取材しようとしたのですが、あいにく7/13に予定していた3小学校の最後の合同練習は雨のため中止。今回は指導に当たっている若松先生(打瀬小)と子ども達の声を聞いてみました。若松先生：

子どもたちは、楽しんで練習に励んでいます。正式練習はすでに6月から始まり、3校合同練習が2回行われました。3校合同での

練習は、ここしばらく合同の行事がなかったのでみんな楽しみにしています。新しい友達ができただけのほかに、いろいろな面で刺激になっているようです。

たまたま、この年に千葉国体があり、その式典に出演できることは、子どもたちにとって良い思い出になると思います。まだ演技はぎこちないですが、本番ではおそろいの衣装で素晴らしい演技を見せてくれるでしょう。子ども達の声：

- ・「ふり」、「足のステップ」がむずかしい。
- ・暑い日の練習には、まいった。
- ・もう少し練習すればだいじょうぶ。そんなに難しくない。
- ・天皇陛下、皇后陛下に素晴らしい演技を見せたい。そして、ベイタウンの人や全国の人にぜひ見てもらいたい。
- ・おそろいの衣装を着て大勢の前で踊るのが楽しみ。
- ・ビデオで自分たちの演技を見てみたい。

「ゆめ半島千葉国体」(第65回国民体育大会)開会式は来る9/25(土)千葉マリスタジアムで開催されます。野球場を使っ



ての開会式は国体史上初めてとのこと。当日は天皇陛下も臨席されます。【落合】

ラジオ体操ついに1日1,000人を突破 ほんとになくなるの？

先月号で書いた「夏休みラジオ体操 今年で最後？」の記事について沢山の反響がありました。今月号ではその顛末記と、7/21から海浜打瀬小校庭で始まった今年度のラジオ体操についてお知らせします。

まず来年度のラジオ体操ですが、記事で呼びかけたこともあり、沢山の方のご協力のお申し出をいただきました。いただいた方12人(先着順)で「ラジオ体操運営サポーター会」(仮称)をつくり1人4日間を担当して、交代でラジオ体操運営のお手伝いをする事になりました。もっとも模範体操をしたり、ラジオを用意したり、更には来場した子どもたちへのスタンプ押しも、そのほとんどを各小学校6年生の「ラジオ体操子どもリーダー」25人が自主的にやってくれるので、サポーターの仕事は時間に来て倉庫の鍵を開け、終わったら鍵を閉めるという程度のことです。

サポーターが集まり実際の運営には道筋ができましたが、問題はもうひとつ、主催(管理)団体の決定です。ラジオ体操はもともと民間の行事であり、特に公的な団体が管理しなければならないという規則や法律はありません。しかし学校の倉庫や校庭を借り、毎日

多くの子どもや大人が集まるので、将来的に継続させることを考えれば街の公的な団体がバックアップしてくれることが望ましいの言うまでもありません。たくさんの子どもの夏休みの楽しみが街全体で応援されることを望みます。

そんな心配をよそに、今年のラジオ体操は例年にも増して活気のある体操会となっています。体操初日の7/21には1000人を超える大人や子どもが集まり、記録的な体操会になりました。

ベイタウンでのラジオ体操の特徴は大人の参加が多いこと。もともと未就学や小学校低学年の子どもたちが多い地域ですが、最近はそのお父さんやお母さんが夏休みの健康づくりに子どもたちと一緒に参加している姿が目につきます。毎朝1000人もの人たちが一斉に

ラジオ体操をする姿は圧巻。日本全国でも珍しい風景でしょう。

夏休みラジオ体操は8/21より場所を美浜打瀬小学校に移して8/30まで日曜日を除く毎日6:30より行われます。

来年度のラジオ体操サポーターのお申し込みもお願いします。お問い合わせ、お申し込みはTEL:043-211-6853またはe-mail:mazmbtn@yahoo.co.jp(松村)まで。【松村】



ところであのニュースはその後どうなったの？

いつもニュースの記事を書いていて、取材当時はホットな話題だったのに、時間がたちこちらの関心もつい薄くなってしまっただけでその後をお知らせする機会を失ってしまうということがよくある。これではいけないと思い、今月号ではこれまで紹介していながらそのままになっている4つの開発計画のその後を企業庁に取材し、その後得られた情報とあわせてお知らせする。【金】

1. SH2 街区開発状況 (09 年 4 月号「打瀬中学校の増設案発表」)

今回は第二中学問題でなく、中学の海側に隣接する SH2 街区の開発計画について。

SH2 街区は①今回分譲された「アクアテラス」② 198 戸のマンション(超高層?)③ 110 戸のマンション④ 約 2.8 ヘクタールの商業スペースの 4 つに分けられ、この内③と④の事業者は決定していないという。

特に④の海浜大通り沿いの広大な商業スペースは過去に介護付大型マンション計画など様々な進出計画が検討され、住民の期待も高かったこともあり、白紙に戻ったことは残念だ。今回、実際に店舗進出を検討したことが



打瀬中より見た SH2 街区。ここには超高層マンションと商業施設が予定されているが今は不透明な状態だ。

あるという事業者は「広い敷地と大通り沿いである点は魅力的であるが、この広い土地に建物を作るとなると 100 億円規模の投資になる。店舗進出を検討するときは、予定地を中心とした放射線を描き、どのぐらいの集客が見込めるか計算するが、SH2 の場合、海を背にした立地なので放射線の半分にしかならず動線がなく、どうしても良い結果にはつながらず断念した」と話していた。商業スペースでの計画決定には今しばらく時間がかかりそうだ。

2. 海浜デッキ (07 年 9 月号「海浜デッキの概要決まる」)

ニュースではかなり具体的な完成予想図まで紙面に掲載されたが、長い間工事開始の知らせがなくすっかり忘れられていた感がある。今回はタイミング良く、デッキの建設開始が決まり企業庁も住民に対する広報を検討していたところを取材できた。

海浜デッキは、ベイタウンと海浜公園との間にかかる「マリンドッ

キ」とほぼ同じ構造のパイプを使ったアーチ状の橋だ。今回発表されるのは H22.7 月～H23.2 月末に行われる「下部工」の工事が対象である。「下部工」は、橋の両端に建設される構造物(橋脚)のことだが、近々上部工事の発注も行われる予定とのこと。

下部工工事については、8 月初旬には住民を対象にした「工事のお知らせ」が行われる予定だ。

3. H7 街区 (09 年 7 月号「企業庁 H7 街区の開発計画案を提示」)

H7 街区の建設計画に関しては、当初の中学校予定地が大型マンション計画に変更となり、ベイタウンニュースでも 5 回に渡って記事を掲載し、近隣住民の関心も非常に高い事案だ。第二中が建設されないことは先月号で伝えているが、代って予定されている開発計画(50 戸の高齢者用賃貸住宅を含めた 500 戸のマンション計画)には大きな変更はない。この問題については時期や場所等は未定だが、近々連合会や近隣住民向けの説明会を行いたいという。

次の説明会がどのような展開をたどるのか引き続き取材していきたい。

4. 第 2 コア整備計画 (07 年 7 月号「コア拡充整備計画検討会について」)

「コア拡充整備計画検討会」が設置されるというニュースを最後に音沙汰なしだが、今回の取材でも新しくお伝えできるような話はなかった。結局企業庁解散と同時に消え去ってしまう話なのだろうか？

現在のコア建設のために注がれた、かつての住民の熱気を思えば少し寂しい気持ちもしてくる。

千葉ソロギターサークル

分厚いホールの扉を開けると、引き締まった雰囲気の中にクラシックギターの弦の柔らかい音が静かに響いていた。ステージにはギタリストがひとり、聴衆は同じサークルの会員が 25 人ほど。緊張感のある空間を、ソロギターの張りつめた弦の音が切り取って行く。ギターサークルの練習日のひとコマだ。

千葉ソロギターサークルはコアで活動するクラシックギターサークルで、ソロギターという名のとおり、アンサンブルでなくソロでギター演奏を行っている珍しいサークルだ。ホールに入った時に感じたあの緊張感はソロギターという演奏形態のもつ独特の雰囲気、アンサンブルギターの持つ明るく華やかな雰囲気とは違った魅力を持っている。

このサークルを取材することになったのは、今秋のコア・フェスタ(公民館まつり)準備委員会で、サークルの代表代理として出席した結城保さん(ベイタウン在住)と知り合ったのがきっかけだった。もの静かだが委員会の席では責任感のある発言で会をリードし、手間のかかる連絡係も積極的に引き受けて、コア・フェスタの音楽関係のイベントを取りまとめてくれた。そんな結城さんの人柄に惹かれて、勧められるまま月 1 回の公開練習を取材することになった。

千葉ソロギターサークルの会員数は 45 人(男性 35 人、女性 10 人)。代表の上原淳さん(千葉市中央区在住)をはじめギターのレベルは非常に高く、プロ、セミプロという方も会員の中にいる。練習は毎月 1 回、コア・ホールと末広公民館で交互に開催してる。月に 1 回という少ない頻度だが、毎回の練習は発表会形式。ひとりひとりがステージに立ち、持ち時間の 10～15 分を練習して来た曲の発表演奏にあてる。練習してこなければ恥をかき、という活動は否が応でも緊張感を高める。

そんなギターの真剣勝負の場のようなサークルだが、代表の上原さんは意外にもピアノやヴァイオリンなどギター以外の楽器とのアンサンブルも積極的に行っている。サークルにもピアノやフルートなどギター以外の楽器奏者が何人かメンバーとして入会しており、これからも参加はウェルカムだ。夢はオーケストラをバックに協奏曲を演奏することといい、街にベイタウン・オーケストラがあるコアは願ってもない活動場所だそう。また、弦楽アンサンブルとギターの共演にも夢を膨らませているとのこと。

技術的、音楽的にレベルの高いソロギターサークルだが、設立は 2008 年とまだ新しい。そのためか外部に対しても積極的に活動を公開し会員募集をしている。毎回の練習は公開

で誰でもコアに行けば聴く事ができ、プロやセミプロのソロギター演奏が目前で無料で堪能できるちょっとした穴場だ。

千葉ソロギターサークルでは 8 月 15 日に美浜文化ホールで「ギターコンクール優勝者の競演」というコンサートを予定している。入場料 500 円。お問い合わせ(入会を含む)・予約は 080-3470-3663 上原まで。またこの他 12 月にも同ホールで 2 回のコンサートを、さらに来年 2 月 13 日には待望のコア・ホールでの「第 1 回千葉ギター音楽フェスティバル」の開催が予定されている。千葉に、全国的にも珍しい本格的なギターソロのサークルができたことを歓迎し、今後の活動に期待したい。

千葉ソロギターサークル公式ブログ: <http://nao2010.blog11.fc2.com/>

【取材: 松村】



みんなでつくるコア・フェスタ

先月号でお知らせした「第一回ベイトウン・コア フェスタ」(主催: コアフェスタ実行委員会)の準備が進んでいます。

コア フェスタは「秋のベイトウンまつり」を目指したコアイベントです。期間は11/21(日)～11/23(祝)の3日間。この期間はコアは全館お祭りモードです。音楽系やダンス系サークルの発表、絵や写真など展示系サークルの展示会の他、サークル主催の初心者向けワークショップ型体験会、中庭での喫茶・軽食コーナーやフリーマーケットが企画されています。ベイトウン秋の文化祭「コア フェスタ」を楽しみにお待ちください。

コア フェスタ準備委員会では「みんなでつくるコアフェスタ」を合い言葉に、準備と開催にご協力いただけるボランティアを募集しています。ボランティアに参加していただける方は、公民館の受付に用意してある受付用紙にご住所、お名前など必要事項をご記入ください。こちらから連絡をさせていただきます。

敬老会のお知らせ

平成22年度打瀬地区敬老会は、下記のとおり開催が決まりました。今年は、従来70歳以上の参加対象者が75歳以上(今年の12月31日時点)となり、参加者も少なくなるため、以前のとおりベイトウン・コアでの開催となりました。

この街は若い人が住んでいる街と言われますが、今回敬老会の参加対象となる75歳以上の方は353人です。決して少ない人数ではありません。

詳細については、8月10日頃担当民生委員からご案内があります。開催日時:平成22年9月20日(月・敬老の日) 10:00～

場所:打瀬公民館 コア・ホール

アトラクション:保育園児の和太鼓演奏、地元サークルによるギター演奏、合唱。

主催:社会福祉協議会打瀬地区部会

共催:民生委員、児童委員協議会、ベイトウンシニアクラブ、ベイトウン自治会連合会

8月のコア・イベント

8月22日(日) ファツィオリの会

第86回ファツィオリの会

時間:9:30～11:30

場所:ベイトウン・コア 音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファツィオリ」を弾いたり、他の楽器演奏や声楽・合唱などに使っていただくことができます。どうぞお申し込みください。

申込み先:TEL & FAX 211-0273 阿曾

申込締切:8月15日(日)

ただし、いっぱいになり次第締め切らせていただきます。

8月28日(土) 寺子屋工作ランド

「ぶんぶんごま」

時間:9:30～11:30

場所:ベイトウン・コア 工芸室

持ってくるもの:ハサミ、のり、セロテープ、その他工作道具

参加費:50円(保険料)

わくわくお話し会 8月はお休みです。

次回は9月18日(土)です

育成委員会 パトロール予定

8/21 午後9:00 打瀬小学校アリーナ前集合

どなたでも参加できます。男性に参加していただくと助かります。

育成委員会のパトロールは毎月第4土曜日に行っています

(8月は夏祭りのため第3土曜日です)。

4～9月は午後9:00開始、10～3月は午後8:00開始です。

場所は毎回打瀬小アリーナ前に集合です。

渡辺玲子 ヴァイオリン・リサイタル

日本を代表するヴァイオリニストがコアに

ニューヨークを拠点に活動する世界的ヴァイオリニスト渡辺玲子のコア・ホールでのコンサートです。彼女の演奏は世界屈指の超絶的なテクニックと玲瓏で知的な演奏と評され、今回のプログラム選曲でもその魅力が存分に楽しめます。今回は多忙な中、コア・ホールの運営姿勢に共感して出演を快諾していただきました。使用楽器はこれも世界屈指の名器グアルネリ・デル・ジェス「ムンツ」です。

夏休み最後の日曜日を二度とないコンサートでお楽しみください。

このコンサートの収益はすべてコア・ホールとピアノの管理のために使われます。

「渡辺玲子無伴奏ヴァイオリン・リサイタル」

日時:8月29日(日) 午後1:30開場、2:00開演

入場料:一般:2,000円、中学生以下:1,500円

チケット販売:きらら(CPW)、ジャイネパール(5番街)、ギャラリーキキ(17番街)

予約・お問い合わせ:211-6853(松村)、276-3878(大垣)

主催:ベイトウン・コア音楽文化振興基金

プログラム:

バッハ 無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第3番 ホ長調 BWV1006

イザイ 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第6番 ホ長調 作品27

ヒンデミット 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第1番 作品31-1

エルンスト 「夏の名残のバラ」による変奏曲



タチアオイのタネ差し上げます

おなじみのベイトウンニュース「花のタネプレゼント」。6月号のナノハナにつづいて、今月はタチアオイのタネを差し上げます。タチアオイは春に蒔くと次の年の春に花が咲きますが、秋蒔きの場合は来春の開花は微妙です。咲かない場合はもう一年待つ事になります。タチアオイのタネは打瀬公民館(ベイトウンコア)受付で、「ベイトウンニュースで見た」とお申し出ください。先着順です。

コア水彩サークルが作品展を開催

幕張ベイトウン・コアで活動している絵仲間が日頃の成果を展示します。

日時:8/31(火)～9/5(日)

場所:千葉市民ギャラリー・いなげ

千葉市稲毛区稲毛1-8-35 (TEL 043-248-8723)

開館時間:展示室 午前9時～午後5時

(初日午前11時～/最終日～午後4時)

連絡先:伊達(211-6548)



5時の鐘の秘密

「もう5時だ！」外で遊びに夢中になっている子どもたちが帰宅時間に気づくのは、街に「夕焼け小焼け」のメロディーが流れ出すとき。母親たちにとっても夕方5時の音楽は、子どもが帰ってくる時間。夕飯の支度に取りかかる時間を知らせてくれます。毎日当たり前のように聞こえてくるため特に意識することはありませんでしたが、ある時ふと音楽はどこから聞こえてくるのだろう、なぜ「夕焼け小焼け」が流れるのだろうと気になりました。【城本】

夕方5時。家の窓を開け音楽に耳を傾けると、自宅マンションの隣にある消防署（美浜消防署打瀬出張所）のスピーカーから聞こえていることが判明しました。早速消防署に電話をしてみると、「スピーカー」の管轄は千葉市総合防災課とのこと。総合防災課の担当者から話を伺うことになりました。

一なぜ消防署のスピーカーから音楽を流しているのですか？

防災課：スピーカーの正式名称は「防災行政無線」といい、全国の市町村に設置されてい



ます。千葉市内には123カ所あり、消防署や小学校、公園等に設置されています。防災用のスピーカーですので、故障していないかをチェックするため音楽を流しているのです。仮に音楽が流れないことがあれば、市の職員がすぐに点検にいきます。ベイタウン内の防災行政無線は、美浜消防署打瀬出張所のみですが、場所によっては近隣地区の無線が聞こえているかもしれません。

一音楽はどれくらいの頻度で流しているのですか？

防災課：千葉市の場合1日3回流しています。朝7時に「カッコー」、正午に「チャイム音」、夕方5時に「夕焼け小焼け」を年間通して毎日流しています。朝と昼はそれぞれ27秒間、夕方は57秒間流します。

一なぜ夕方は「夕焼け小焼け」なのでしょう？

防災課：千葉市に防災行政無線が初めて設置された昭和48年当初、夕方5時に「ボン、ボン」というお寺の鐘の音を流していました。ところが、住民から「冬場のうす暗い中、毎日お寺の鐘が聞こえてくるのは不気味だ」との苦情が出たため、人々になじみ深いイメージのよい曲にしようとして検討し「夕焼け小焼け」になりました。美浜消防署打瀬出張所ができたのは平成5年ですから、ベイタウンは街開きからのときから「夕焼け小焼け」が流れています。

一防災行政無線は音楽の他にどのようなことを流すのでしょうか？

防災課：光化学スモッグの警報や、選挙日の投票率等を流します。また、大きな地震が起きた時は国から地震速報が届き、それが市町村の防災行政無線から自動的に流れるシステムになっています。

取材するまで、単なる慣習として音楽を流しているのだろうと思っていましたが、担当者に話を聞き、音楽には重要な役割があることを知り驚きました。ただし、選曲や頻度は市町村ごとに違うそうです。千葉市以外ではどんな曲が使用されているのか調べました。

市川市：昼「チャイム音」
夕「家路」

八千代市：夕（冬季以外）「野ばら」（冬季）
「夕焼け小焼け」

習志野市：夕「夕べの星（習志野市在住の方が作曲したオリジナル曲）」

茂原市：朝「エーデルワイス」
夕「夕焼け小焼け」

市原市：夕「ハッピー市原」

東京都新宿区：夕「夕焼け小焼け」
東京都東村山市：夕（夏季）「椰子の実」（夏季以外）「赤とんぼ」

ベイタウンに越してきて初めて「夕焼け小焼け」を聞いたとき、どこか懐かしい感じを覚えました。もしかしたらと思い、出身地の福島県郡山市についても調べてみると、夕方5時に「夕焼け小焼け」が流れていることが分かりました。友だちと遊ぶ楽しい時間は5時でおしまい。でも曲を聞きながらの帰路は、楽しさの余韻に浸れる時間だったのかもしれない。ベイタウンの子どもたちにとってもこの曲は、将来、街の風景や友だちの顔を浮かべることのできる思い出の曲になることでしょう。

ヤマモモの実

5月中旬から7月初旬の頃にかけて、ベイタウンの歩道のあちこちで、つぶれた木の実で路面が赤くなっているのを見かける。ヤマモモだ。1、2cmほどの小さな赤い実が木から沢山落ち、その実が踏まれたりつぶれたりして、果汁で歩道を赤黒く染めてしまう。

人によってはとても汚いもののように避けて通り、美しい街並のベイタウンのやっかい者のように思われているだろう。

しかし四国の太平洋岸で育った私にはヤマモモの実が落ちるに任せて放置されているのを見ると、実に「もったいない」という気分になる。ヤマモモの柔らかい実は甘酸っぱく、少し塩をかけて食べるととても旨い。その味は他に例えようがなく、この時期山では他にグミやビワなどもあるが、ヤマモモは特別のごちそうだ。最近ではヤマモモをジャムにしたりしているのを見るが、あの甘酸っぱい野性的な実を砂糖づけにするなど信じられない。

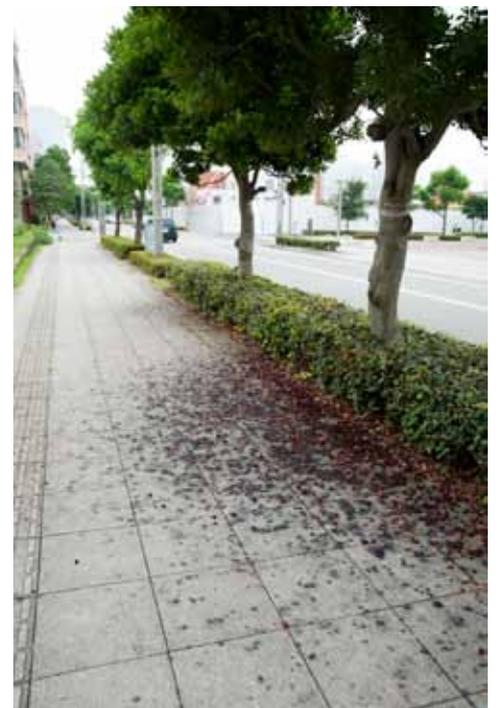
ヤマモモは千葉から南の太平洋岸の山にはよく見られる木で、潮風にも強いせいか海に近い場所で街路樹としてよく植えられてい

る。特に干潟を埋め立てて作ったベイタウンや美浜区一带ではどこにでもある木だ。

ベイタウンでは消防署前の白帆通りに多く植えられ、この記事を書いている7月初旬には歩道が赤く染まっている場所が沢山あった。同じヤマモモでも木によって全く実をつけない木と、毎年よく実をつける木がある。これは木に雄雌があるからで、実がつくのは当然雌木だけだ。風で受粉するので、街路樹のように集中して植えられていると受粉の確率が高いのか、ベイタウンのヤマモモは毎年沢山実をつけるようだ。

故郷の四国東南の太平洋岸では海に面した山の斜面にヤマモモの木がたくさんあった。小学生の頃から高校生になっても梅雨の時期には学校帰りに友人の家の裏山に入り、ヤマモモの木に登ったまま青い海を見ながら友達とよく話した。将来のことや受験のこと、好きな女の子のことなど日が暮れるまでヤマモモの実で口を真っ赤にしながらかわいかった。

ベイタウンでもときどき歩道を歩いていて上から話し声が聞こえることがある。驚いて見上げると小学生がヤマモモに登っている。どんなことを話しているのだろう。【松村】



打瀬小裏手の白帆通り歩道を赤く染めるヤマモモの実。